

♣人吉豪雨災害タオル 寄付のお礼♣

先月球磨川が氾濫し、人吉の中心地に大きな被害がありました。LINEで皆さまに寄付を呼びかけましたら約1000枚ほどのタオルが集まり、人吉だけでなく芦北方面へも送ることが出来ました。雨の中、受診ではなくタオルのみ運んで来て下さった方もおられ感動しました。本当にありがとうございました。心より感謝致します！
院長 池澤滋

感染症情報 6/29~7/26	前 回	今 回
アデノウイルス	2	2
溶連菌感染症	9	5
感染性胃腸炎	25	38
水痘(水ぼうそう)	0	0
手足口病	11	12
RSウイルス	0	0
突発性発疹	27	2
りんご病	0	0
EBウイルス	0	0
ヒトメタニューモ	0	0
インフルエンザA	0	0
インフルエンザB	0	0
おたふく風邪	2	3
カンピロバクター	1	1



① 「サクタロウ」

② 実話

4コマまんが
作・絵
ちえこ&きみこ



住所：合志市野々島 2461
(ユーパレス弁天 北側)
TEL：096-242-6633
診療時間：9：00～/14：00～18：00
休診日：木曜・土曜午後・日曜祝
URL：http://www.ikezawaorg/

希望はみんなを照らす

先月の初めに発生した人吉の豪雨災害。

球磨川の氾濫により、甚大な被害がもたらされました。『水害は地震より大変だよ』とさんざん聞かされていましたが、雨靴にカッパ姿、覚悟して完全な装備で3日後に人吉に入りました。まず、知り合いの整形クリニックに伺いましたが、一階が全て水に浸かったということでクリニック内のソファなどの家具が駐車場に山積みになっていました。雨に濡れた家具は早くもカビが生え始め、強い臭いを放っていて胸が痛くなりましたが、そのクリニックの先生とお話してびっくり！

「天災っていうのはね、仕方がない！ ちょうどリフォームしようと思っていたからねー、良かった良かった！」更に先生は「人間はねー、刺激がなくなったらボケるからねー、ボクはあと10年は働くよ！」今年73歳というA先生は上半身下着姿でワッハッハと笑いながら高麗人参のお茶を飲んでいました。そのエネルギーというかバイタリティーがあまりにも予想外で逆にこちらが救われたような気持ちになり「よし頑張ってるぞー！」と明るい気持ちでボランティアに向かうことができました。

コロナ禍の状況で患者さんが減り閉院を決めた先生もおられる中、73歳にもなられてなお意気揚々と災害に立ち

向かう姿から勇気をもらえたボランティア。人間心持ちだな、捉え方だな、その捉え方が周りにも影響を与えているんだと強く感じました。



新型コロナの影響で私達の生活は急激に変わりました。目に見えない感染症に対する恐怖、不安、そして自粛疲れなどで国民のメンタルヘルスの悪化が懸念されています。強いストレス、また先が見えない「不確かさ」や「曖昧さ」により、それがDV やうつ、虐待に繋がるといいます。こうした状況においては心理的な安全状態を作って『楽しむ』ことが重要とのこと。その日は泥の中のゴミを分別してトラックに載せるという作業でしたが、お昼には炊き出しの「味千ラーメン」に並び、帰りにはかき氷を頬張ったり、暗くなりがちな車内を仲間が笑わせてくれて明るく過ごすことができました。5年前に家族5人で行った球磨川の川下り。救命胴衣をつけたまま冷たい川の中に飛び込んだあの澄んだ溪流が、荒れ狂った濁流となり川沿いの町をまるごと飲み込んだのかと思うと改めて自然災害の恐ろしさに身が竦む思いです。まだまだ続くコロナ対策の閉塞感の中で、どうやってガス抜きをしていくかを考えながら日々、笑顔で乗り越えて行きたいです。

追伸：今回の豪雨で犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。
文責 池澤千恵子